

宗四小だより 11月号

志木市立宗岡第四小学校
志木市上宗岡 1-1-2
048-473-5250
平成27年11月 1日

学校教育目標 ○考える子ども ○思いやりのある子ども

○はたらく子ども ○じょうぶな子ども

「うしきばこ」を開けてはいけない

校長 坂口 栄二



新河岸川土手のコスモス

5月にPTA学年部とあいがも会のみなさんが種まきをし、6月に宗四小の子どもたちと志木高校の生徒、あいがも会のみなさんが新河岸川土手に植栽したコスモスが見ごろを迎えています。秋の深まりを感じます。新河岸川土手を散歩して鑑賞していただければ幸いです。

間関係を築くためには、**使ってはいけない言葉**だと考えます。

しかし現実には、**子どもたちの会話の中に、「うしきばこ」は飛び交っています**。決して「うしきばこ」を開けない世の中をつくっていきたいと思います。

うれしい出来事

先日、地域の方からとてもうれしい連絡をいただきました。その方は目がご不自由な方で、白杖をつきながら市役所に行くために土手を歩いていたそうです。すると本校の5年生4人が声をかけてくれ、さらには市役所まで案内してくれました。とてもありがたかったというお礼の連絡でした。

4年生の時、アイマスク体験などの**福祉体験をした成果があらわれた**のだと思います。その話を先生方に報告したとき、先生方はとても喜び、職員室に**笑顔があふれました**。

ところで、地域の方々から学校への連絡の多くは、「駐車場子どもたちが危ない遊びをしている」「道いっぱい広がって歩いていて邪魔になっている」「注意をしたら汚い言葉を返してきた」などの苦情です。そんな連絡が入ると職員室は重い空気に包まれてしまいます。

これからも地域の人たちから、今回のようなうれしい連絡がいただけるよう、ご家庭と連携しながら、**人を思いやれる心を育てていきたい**と思っています。

いじめは絶対許さない

埼玉県では、**毎年11月をいじめ撲滅強調月間**とし、県を挙げていじめを根絶していくための様々な取組をしています。本校でも、**いじめはどの学校でも起こりえる**ものであるという認識に立ち、学校生活アンケートなどの取組を行っています。今後も、宗四小からいじめを根絶するための取組を進めていきます。

では、いじめとはどんなことなのでしょう。か。「**いじめ**」とは、「**当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。**」と定義されています。

このいじめの定義から広い目で考えると、「**うしきばこ**」の言葉を使うことも、いじめをしていることとなります。殴る、蹴るという**身体的な暴力**だけでなく、汚い言葉を投げかけるような**言葉による暴力**もいじめと考えられます。

なぜ暴力をふるったり、汚い言葉を使ったりなどのいじめにつながる行為をしてしまうのでしょうか。

そんな行為をしている場面を振り返ってみると、一番考えられるのは「**相手を思いやる心が欠けている**」ことだと思います。

左上のうれしい出来事にある5年生の様な、**相手を思いやれる子どもたちばかりになれば、いじめは撲滅**できます。

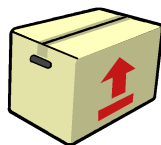
「うしきばこ」のような言葉を使わないなど、思いやりのある子どもを育てるために、今後も教育活動を進めていきたく思います。ご支援ご協力をお願いいたします。



「うしきばこ」とは？

標題にある「うしきばこ」を聞いたことがありますか。

これは、**言われた人やそれを聞いた人がいやな思いをもつ代表的な言葉**の頭文字をとってつなげた言葉です。



う=うざい し=死ね き=きもい
ば=ばか こ=殺す

これらの言葉を言われてうれしい人はいません。人とコミュニケーションをとり、円滑な人